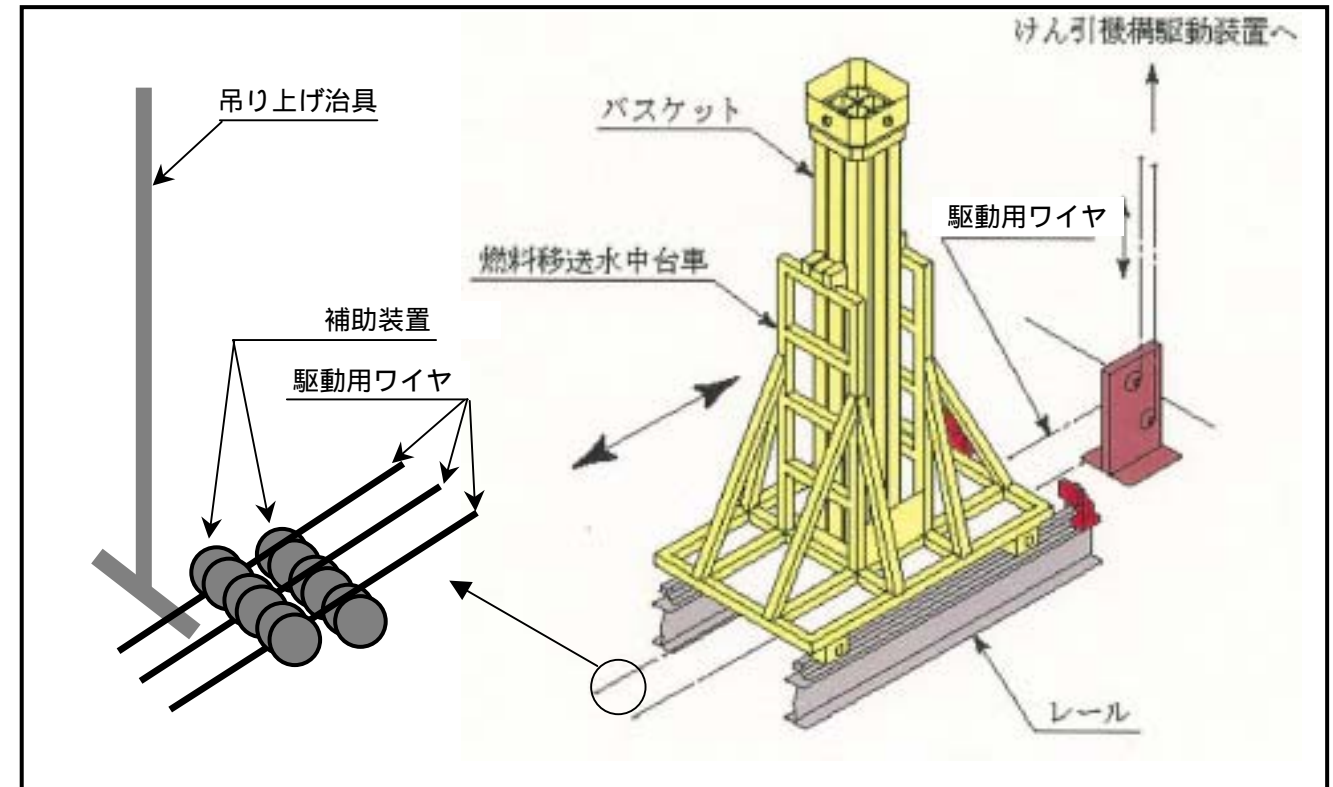
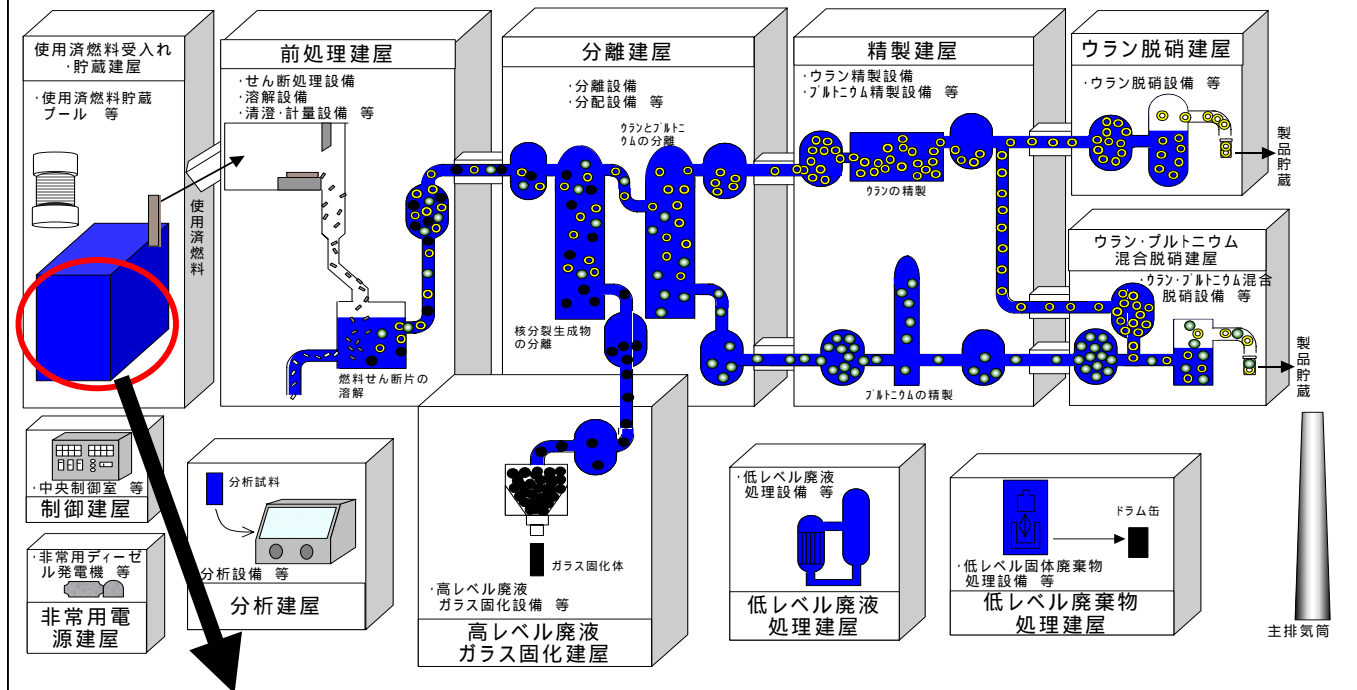


再処理工場が発生が予想されるトラブル等とその対応

(No.7-12)

件名	燃料移送水中台車駆動用ケーブル損傷																		
事象の概要	<p>(1) 発生場所: 機器 使用済燃料受入れ・貯蔵建屋：燃料移送水中台車</p> <p>(2) 設備の概要 燃焼度計測装置により平均濃縮度が測定された使用済燃料を、燃料貯蔵プール又はピットに移送する設備。燃料移送水中台車は2台設置しており、燃料移送水路内に敷設したレールの上を駆動装置から繰り出されるワイヤのけん引力により走行する。</p> <p>(3) 発生の状況 設備点検中</p> <p>(4) 概要 燃料移送水中台車の駆動用ワイヤを円滑に巻き取るローラ付きの補助装置を、点検のため水中から吊り上げる際に、吊り上げ治具とワイヤが接触しワイヤを切断</p> <p>(5) 原因 作業時の確認ミス</p>																		
事象による影響	<p>(1) 工場外への影響 工場外への影響は生じない。 使用済燃料の取扱い中に発生した事象ではないこと、また、放射性物質を除去するフィルタ等を有する建屋換気設備が稼働している建屋内での事象であり、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。なお、本事象は放射性物質の漏えいを伴うものではない。</p> <p>(2) 安全性への影響 安全上の問題は生じない。 ワイヤが切断しても使用済燃料等を取り扱っていない点検中であることから、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題も生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 作業員への影響は生じない。 復旧作業は、定められた放射線管理計画書に従って効率に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 他工程への影響は生じない。 点検中に発生した事象であり、他工程への影響は生じない。</p>																		
対応の概要	<p>(1) 燃料移送水中台車駆動用ワイヤの破損箇所を確認する。</p> <p>(2) 定められた手順に従って、同ワイヤの交換作業を行う。</p> <p>(3) ワイヤ交換作業終了後、燃料移送水中台車の動作確認を行い、異常のないことを確認する。</p>																		
公表区分*1	翌平日に公表（ホームページへ掲載）																		
情報区分*1	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">トラブル情報</th> <th colspan="3">運転情報</th> </tr> <tr> <th>A情報</th> <th>B情報</th> <th>C情報</th> <th>ごく軽度な機器故障</th> <th>清掃・調整等で復旧可能な機器停止等</th> <th>不適合等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	トラブル情報			運転情報			A情報	B情報	C情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等						
トラブル情報			運転情報																
A情報	B情報	C情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等														

事象概要



復旧方法

故障した部品の交換により復旧

トラブル等に伴う設備への影響範囲

運転設備に影響なし

設備

機器 タンク

→ 運転継続

*1 『A情報』:安全協定報告事象等、または、それに準ずる事象、 『B情報』:事象の進展または状況の変化によっては、安全協定報告対象になるおそれのある事象等、 『C情報』:A、B情報に該当しない軽度な不具合、汚染等、特に連絡を要する事象